

母は認知症だった

－ 介護の日々と裁判を語る －

佐保輝之さん、ひかるさんご夫妻は2008年より介護のために同居していたお母様が、2011年6月認知症の症状で暴れ、その後亡くされました。それが、ご夫婦の傷害行為が原因だとして、2012年3月傷害致死容疑で逮捕、勾留される事態となりました。大阪地裁では懲役8年の判決が出ましたが控訴、2015年3月の大阪高裁では原判決破棄、罰金20万円の刑となり、復職の問題もあり上告を断念されました。

こういったご夫妻のご経験は、誰にでも起き得るものです。ご夫妻の介護の生活、その後の裁判のお話をうかがい、認知症の人とその家族の支援について、改めて考えていく機会としたいと考え、お二人をお招きした講演会を開催致します。

〔講演〕 佐保輝之さん、ひかるさんご夫妻

〔コメンテーター〕

認知症の人と家族の会 岩手県支部代表 小野寺 彦宏氏
せんだんの杜高齢者福祉施設 総合施設長 舟越 正博氏

日時：2016年10月2日（日） 13:00－15:30

会場：岩手県立大学 アイーナキャンパス学習室1

参加費：1,000円（当日、会場でお支払い下さい）

下記まで、お名前、参加人数、連絡先を添えてお申し込み下さい



〔お申し込み・お問い合わせ〕

岩手県立大学 社会福祉学部 藤野研究室

FAX：019（694）2301

E-Mail：y-fujino@iwate-pu.ac.jp